



国体ポートのセレモニーで
生涯忘れ得ぬふさと讃歌!!
1995年(平7) 福島国体のセレ
モニー用演奏の練習に励む高郷中
ブラバン部。本番では、少年女子
舵手付フォアで優勝した村の先輩
たちを称えるメロディーを郷土の
山河と村の仲間の思い深く刻み
ます。



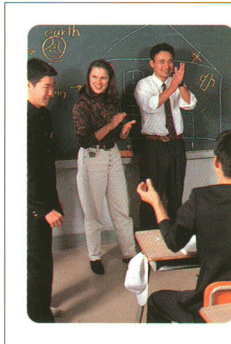
英語もできなげや、
村のよさを世界に発信できないね!!
パソコン教育でグローバルに情報
を収集して入力し、必要に応じて
情報を創造し、感動をも発信でき
る情報デザインの基礎を学びなが
ら、創造性や個性を大切にした豊
かな人間性を培っていきます。



勝っても負けても毅然と!!
自陣に帰る平常心を鍛える。
静中動——今では剣道は我が国伝
統の大和魂を体感できる数少ない
スポーツ。スポーツ少年団は、団
体と個人競技の双方を体験した良
き指導者を迎え、状況に応じた爽
やかな精神を学んでいきます。



仲間の一体感を競いながら
チームワークを学ぶ。
サッカーはヨーロッパでもてはや
された、仲間とのいたわり心を育
てる団体スポーツで、総合力を発
揮する作戦とパワーを学びます。
剣道とともに、村づくりに欠かせ
ぬ心技一体の意欲を育むスポーツ
です。



アクセントを覚えて下さい
アイツカサカイギョウ
地域レベルの海外交流の促進によ
り、村の仲間も地球市民時代の到
来を肌で感じとります。さらに
語学指導を行う外国青年招聘事業
(文部省のG.E.T.プログラム)が、
国際感覚の芽を育てます。

だ
かさと虹の翼」は、村
内から希望者を募り、
派遣目的によってコー
スを選んで海外を巡り、食文化
風土、歴史、農業などの日本との
ちがいを研修して帰ります。
西欧の歴史の深さに感銘を受
け、ホームステイで心ときめか
し、農場を訪ねては驚嘆し共感し
ながら、秘めやかに郷土愛が芽ば
える——、異文化に触れながら
「ふるさと高郷」を思い続ける得
がたい体験症候群が、もたらすで
あろう郷土創出へのエネルギーは
はかり知れないものがあります。



「たかさ」との未来は 若者づくりから。

海外研修で培かいあう 地球市民の自覚と行動力。

さらに、国際感覚を身につけた
人材の育成を目的とする中学生向
けや、地域農業の中核的推進者と
しての意識と実践力を養おうとす
る県農業経営者向けの海外派遣事
業趣旨に積極的に賛同しながら、
地球的視野に立つて思考し、地域
において行動できる人材を育てよ
うとしています。

語学指導助手の先生は、地域に
滞在しながら、地球市民の時代の
到来を予感させる役割を担いま
す。

単なる生産者から 業態を創出する若い力に。

その国際的な視野を広めた青年
のひとり、田代宏昭さんの農業へ
の意欲が、認定農業者制度のスタ
ートによる、村の第一号として評
価され、目的達成に向け農業経営
の改善を計画的に進めながら、経
営感覚に優れた効率的かつ安定的
な経営体の確立に期待が寄せられ

ています。
郷土の魅力に
心ときめく少年たち。
一方、村内の小学
校の児童で編成する
緑の少年団は、どろ
んこになって農作業
を体験しながら、郷
土の基幹作物である
水稻の収穫のよろこ
びに歓声をあげ、山
の精・しいたけの取
穫に山野と共生する
ことの感動を新たにしながら、郷
土を愛しむ心を育んでいきます。
緑とのふれあい体験は、古来の環
境創造型の郷土空間づくりの発想
に欠かせぬワークであり、時代の
担い手に体感して欲しい思想であ
ります。

地域が世界と直結の時代。 速さより感動の入力を!!

村の小中学校では、いまパソコ
ン教育が盛んです。
マルチメディア情報化社会では



稲を1本植えることに
郷土愛が芽生えます。
いま、農業・農村がもつ教育的効果
や役割が重視されています。農業体
験学習は自分たちの地域をみつめ直
す機会ともなり、若者の期待に応え
得る農村や森林空間の整備を進め、
豊かな生活環境の創出をめざしま
す。

コンピュータに対する理解が不可
欠です。音や映像を通して新たな
情報の創出を楽しみながら授業の
多様化に活用しています。
二十一世紀は、地域が海外と直
結する時代。わたくしたちは、阿
賀川沿岸の広域交流に期待しなが
らも、地域社会や個人が海外と自
立的かつ自発的交流を推進するた
めに、地域文化の個性と魅力を見
つめ直し、地球市民としての自覚
と行動力を培っていきます。

緑の少年団の農作業体験